

今月の最優秀作品

漢字条幅

祥穂 佐藤 陽菜 紙面の白を生かす鋭い筆致により、行書の躍動感を見事に表現した迫力ある作品。今、中三とか。将来が楽しみ。

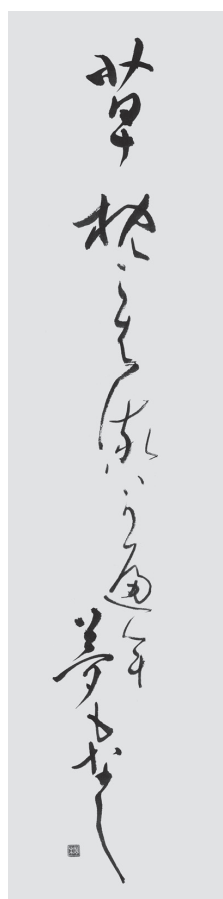
(選評 八尋 光華)



かな条幅

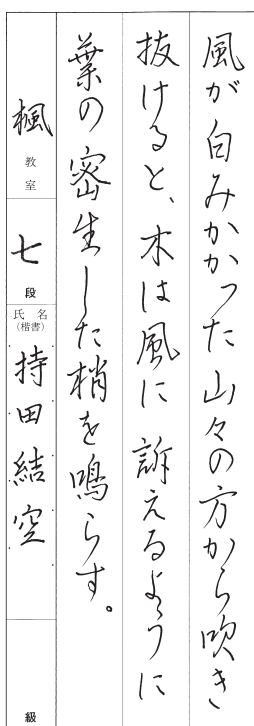
セブ 岩崎 絵菜 漢字と仮名の調和がお見事。文字の濃淡、疎密の変化があり、連綿も滑らか。夢違観音様の優しい微笑を感じさせる。

(選評 中村 紫泉)

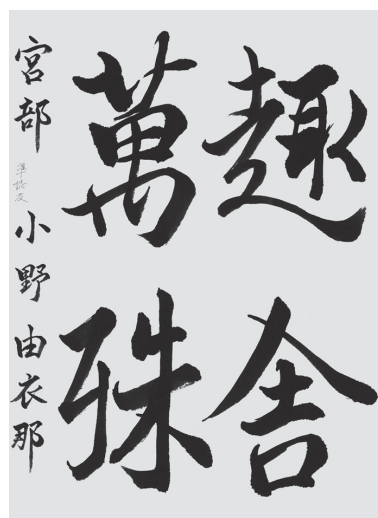


ペン 楓 持田 結空 線質に力強さと勢いがあり、風が吹き抜けるような流れが感じられ、気持ちのよい作品。本文と名前の調和も素晴らしい。

(選評 多田 溪翠)



漢字半紙

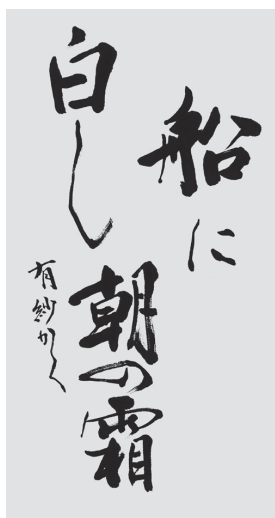


宮部 小野田衣那

古典をよく理解し、筆致の確かさや均整の取れた高い構成力が光る。名前も品良く収め模範となる臨書作品となった。

(選評 池田 彩雲)

新和様

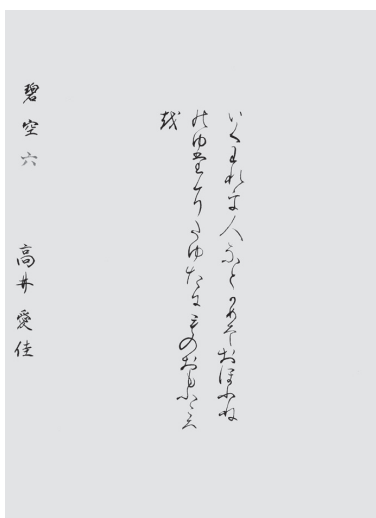


セタ 福田 有紗

線質が美しく名前までの布置がバランス良く整った。太細、潤渇が効き見事な書きぶり。冬の情景が浮かぶ迫力ある作品。

(選評 山崎 貴子)

かな半紙



碧空 高井 愛佳

線の太細、息の長い連綿など、生き生きとした筆の動きをよく捉えている。真摯な臨書態度が窺える。名前の位置はもう一考。

(選評 平川 恵翔)



◇ 今月の優秀作品 ◇







紅泉 者影武 大戸麻緒	書前 者影武 佐藤瑛月	東千 無縦 山田 流瑛 無横 無画	子安 無縦 藤田 優愛 無横 無画	二 無縦 田野崎 晏和 無横 無画
佐倉 者影武 戸村 琴音 ₃	稲毛 者影武 原佳音	五香 無縦 小太刀 佳世 無横 無画	山田 無縦 宮元 雪羽 無横 無画	唐沢 無縦 二 武市 優心 無横 無画
中原 者影武 本郷 陽菜	福岡 者影武 樋口 十くら	安永 無縦 初枝 奏 無横 無画	二松 無縦 下田 孝子 無横 無画	報徳 無縦 一 福島 結信 無横 無画
英花 者影武 出原 颯空 ₅	加茂 者影武 田浦 凜のん ₂	黒水 無縦 初 市川 仁鼓 無横 無画	人二 無縦 初 塚本 和歌 無横 無画	古 無縦 岩村 怜余 無横 無画
三木 者影武 酒井 美華	西山 者影武 紅葉 ₂	清苑 者影武 田仲 優菜	香泉 無縦 初 秋田 谷七心 無横 無画	台道 無縦 二 尾崎 内芦 無横 無画

大佛の
冬日とや
あり

文月 四段 山本望生

大佛の
冬日とや
あり

文月 四段 山本望生

大佛の
冬日とや
あり

文月 四段 山本望生

大佛の
冬日とや
あり

文月 四段 山本望生

大佛の
冬日とや
あり

文月 四段 山本望生

大佛の
冬日とや
あり

文月 四段 山本望生

大佛の
冬日とや
あり

文月 四段 山本望生

大佛の
冬日とや
あり

文月 四段 山本望生

大佛の
冬日とや
あり

文月 四段 山本望生

大佛の
冬日とや
あり

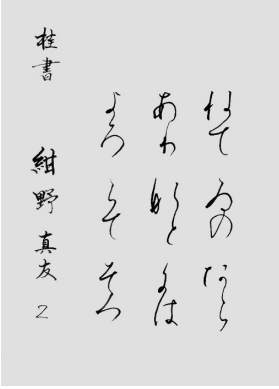
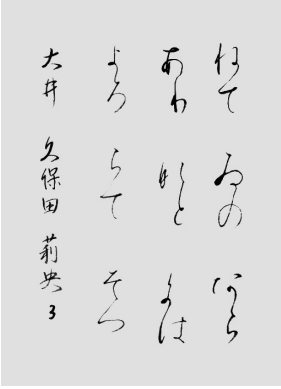
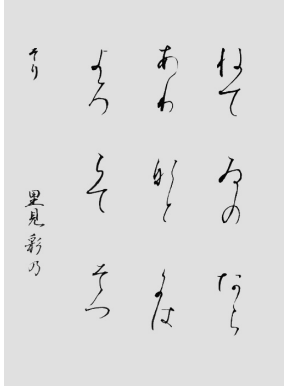
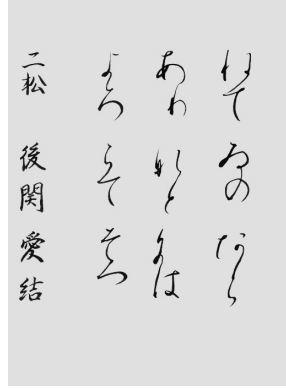
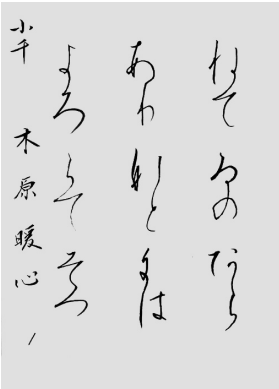
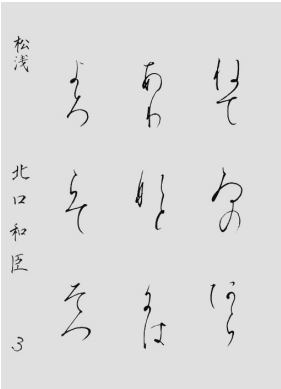
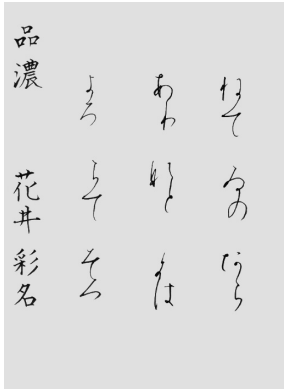
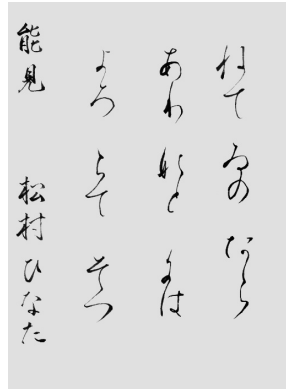
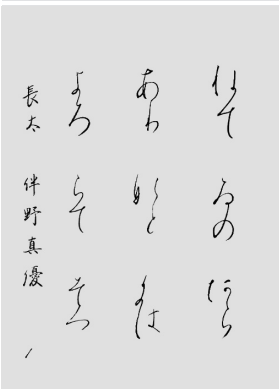
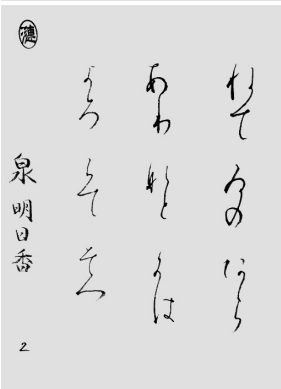
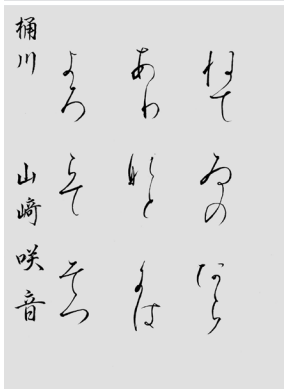
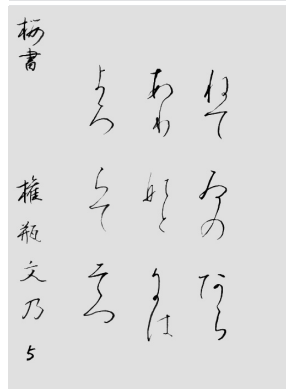
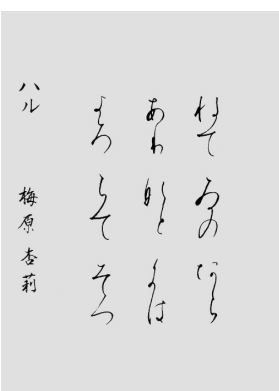
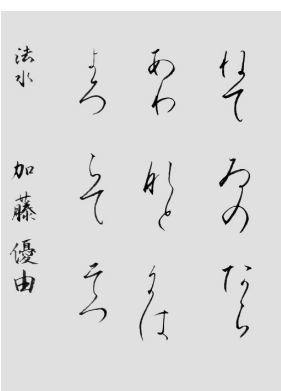
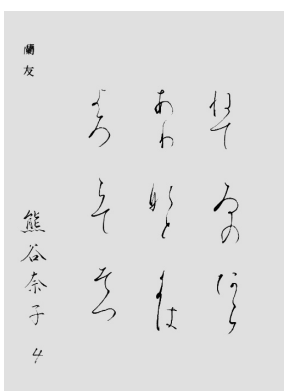
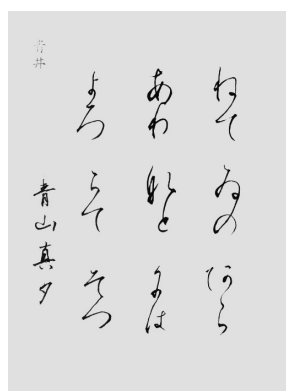
文月 四段 山本望生

大佛の
冬日とや
あり

文月 四段 山本望生

大佛の
冬日とや
あり

文月 四段 山本望生



日暮飛鳥還

優奈書

北城 白倉 優奈

日暮飛鳥還

璃乃書

夕 高木 璃乃

日暮飛鳥還

萌花書

七夕 刈谷 萌花

日暮飛鳥還

奏太朗書

清月 矢嶋奏太朗

日暮飛鳥還

空書

沖繩 平良 空

日暮飛鳥還

魁翔書

仙水 西宮 魁翔

天法道 天法道

真季書

小杉 川合 真季

天法道 天法道

彩乃書

沙扇 宇田 彩乃

百々果書

川園 新藤百々果

桶川 山崎 咲音

船に
白し朝の霜
咲音かく

AN 出町 美花

船に
白し朝の霜
美花かく

白鳥 山手 ゆき

初雪や
水仙の葉れ
山手かく

郁野 片岡 啓太

草枕に
初雪や
郁野かく

百花 奥田 陽羽

草枕に
初雪や
奥田かく

小平 谷川 俊介

船に
白し朝の霜
俊介かく

厚木 勝崎 はのか

船に
白し朝の霜
はのかかく

光書 平野 美桜

初雪や
水仙の葉れ
美桜かく

書友 上原 羅央

初雪や
水仙の葉れ
羅央かく

そり 永山 叶子

草枕に
初雪や
そりかく

白鳥 山手 ゆき

船に
白し朝の霜
ゆきかく

日吉 西川 依里

船に
白し朝の霜
依里かく

一倫 深田 琴子

初雪や
水仙の葉れ
琴子かく

かか 宇野 友篠

初雪や
水仙の葉れ
かかかく

新木 横山 蒼汰郎

船に
白し朝の霜
蒼汰郎かく

有彩 阿久津 美文

船に
白し朝の霜
美文かく

白根 星 彩朱花

初雪や
水仙の葉れ
彩朱花かく

船に
白し朝の霜
咲月さきづき

南丘
甲田 咲月

船に
白し朝の霜
桐葉きりぎりす

りん
村田 純葉

船に
白し朝の霜
綴音つづね

II
居軒 綾音

船に
白し朝の霜
悠ゆう

和同
仲田 悠

船に
白し朝の霜
凛れん

松原
高根沢 凛

船に
白し朝の霜
初はつ 銘めい 奈な うう

若林
青木 結奈

船に
白し朝の霜
良子りょうこ

三志
小高 良子

船に
白し朝の霜
初はつ 張心ちやうしん

小千
木原 暖心

教会に
雪投げを
あつまり
来
潮崎芽衣紗

教会に
雪投げを
あつまり
来
書芸 篠原恵里香

教会に
雪投げを
あつまり
来
虹舟 藤村沙耶

教会に
雪投げを
あつまり
来
玉秋 奥野 萌梨

教会に
雪投げを
あつまり
来
文ぶん 山中 日櫻里

教会に
雪投げを
あつまり
来
五香 小太刀 佳世

教会に
雪投げを
あつまり
来
日ひ 橘 茉莉子

教会に
雪投げを
あつまり
来
一倫 深田 琴子

教会に
雪投げを
あつまり
来
千ち 里見 彩乃

教会に
雪投げを
あつまり
来
東御 馬場 愛織

教会に
雪投げを
あつまり
来
福子 大野 夏葵

教会に
雪投げを
あつまり
来
小杉 唐澤 結叶

教会に
雪投げを
あつまり
来
せや 泉田 琉維

教会に
雪投げを
あつまり
来
仙水 西宮 魁翔

教会に
雪投げを
あつまり
来
有弥 水島 舞依

風が白みかかつた山々の方から吹き、
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

風が自みかかつた山々の方から吹きて、
抜けると、木は風に訴えらるゝに
葉の密生した梢を鳴らす。

和同 五段 五 小元 鈴緒

風が白みかかつた山々の方から吹き、
抜けると、木は風に訴えろように
葉の密生した梢を鳴らす。

風が白みかた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

岡山 教員 三 氏名 林 千尋

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

翠湖 教員 四 氏名 田嶋 ゆず

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

松原 教員 四 氏名 金子 みやび

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

恵那 教員 四 氏名 志津 結愛

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

エバ 教員 三 氏名 山口 己晴

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

山田 教員 三 氏名 宮元 雪羽

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

奈良 教員 二 氏名 鈴木 杏奈

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

秋山 教員 五 氏名 渡辺 結柳

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

静東 教員 四 氏名 市川 詩月

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

三条 教員 四 氏名 横山 奏亜

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

若定 教員 四 氏名 田村 希実

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

清苑 教員 三 氏名 山野 七望

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

小諸 教員 三 氏名 金井 新璃

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

大井 教員 二 氏名 池田 紗蘭

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

萌斗 教員 五 氏名 田中 ゆな

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

学園 教員 四 氏名 池田 菜生

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

平泉 教員 四 氏名 熊谷 朋華

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

里番 教員 三 氏名 注田 結心

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

吹上 教員 三 氏名 桂川 凜

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

HG 教員 三 氏名 青木 幸雲

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

前田 教員 二 氏名 矢ヶ崎 美晴

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

美泉 教員 五 氏名 諸橋 沙希

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

栄寿 教員 四 氏名 藤安 絢音

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

瑞穂 教員 四 氏名 加藤 煌翔

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

白鳥 教員 三 氏名 鈴木 美稀

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

請西 教員 三 氏名 長島 凜香

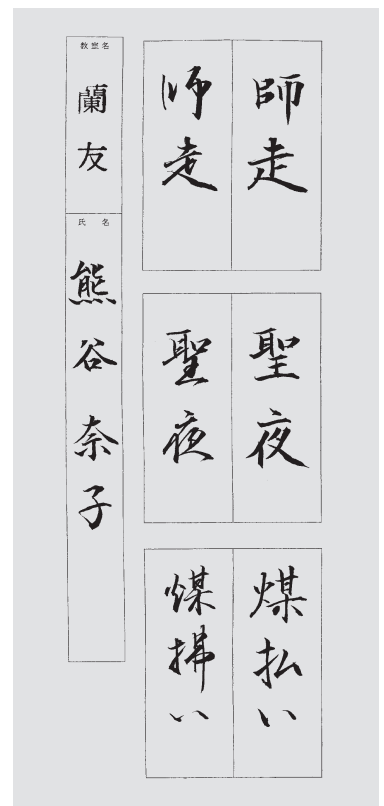
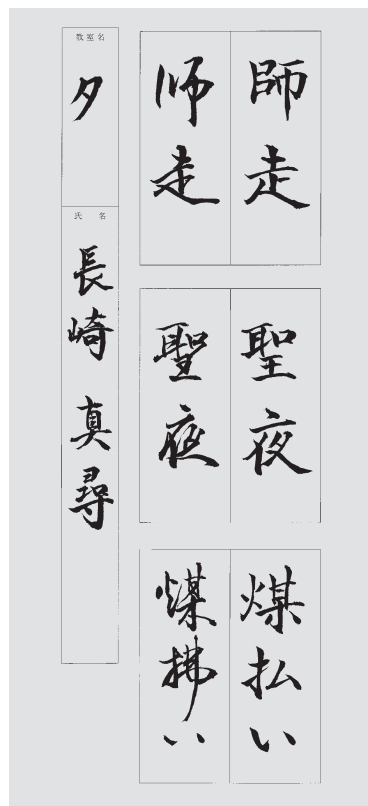
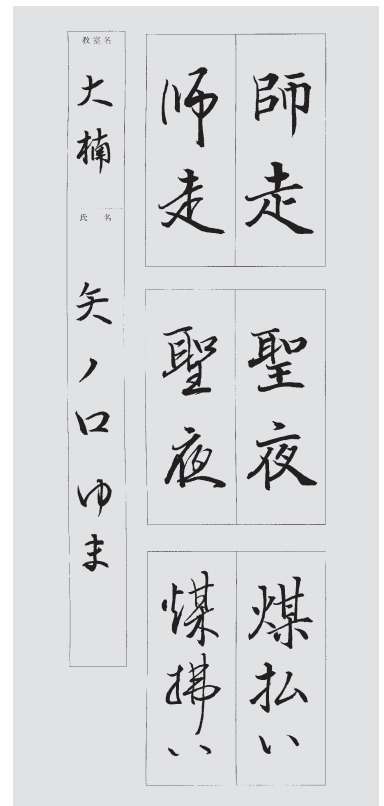
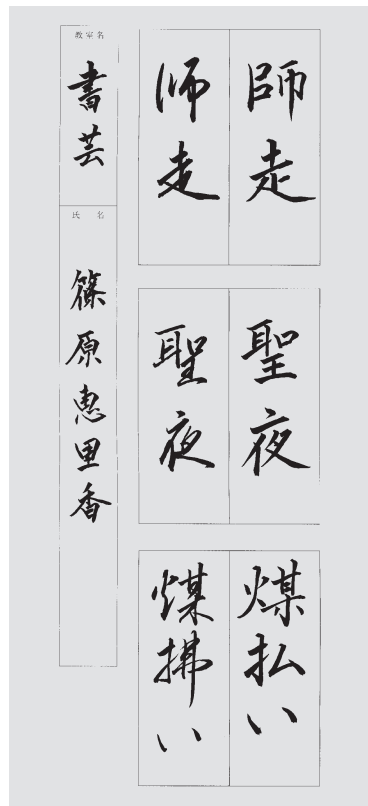
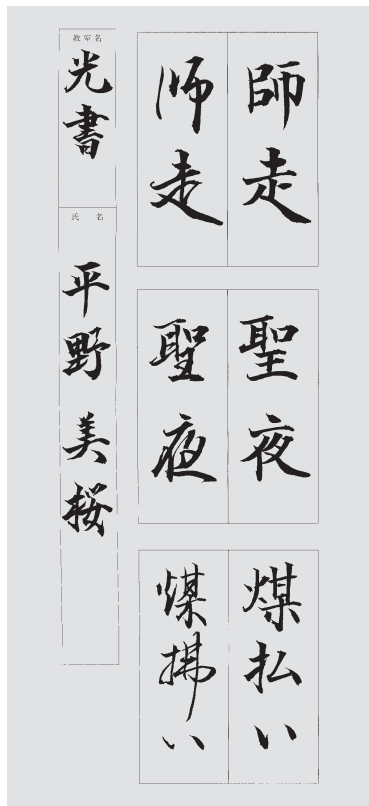
風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

杏 教員 二 氏名 小田 結月

風が白みかかつた山々の方から吹き
抜けると、木は風に訴えるように
葉の密生した梢を鳴らす。

まお 教員 二 氏名 阿出川 真央

<p>チヨ 教室 級 氏名 神 悠貴 作品番号 10</p> <p>事情がこみ入って複雑な経過をたどること。紆余曲折。</p>	<p>高崎 教室 級 氏名 永森 幹人 作品番号 11</p> <p>事情がこみ入って複雑な経過をたどること。紆余曲折。</p>	<p>瀬戸 教室 級 氏名 田中 雅人 作品番号 12</p> <p>事情がこみ入って複雑な経過をたどること。紆余曲折。</p>	<p>美祢 教室 級 氏名 初 富時央 作品番号 13</p> <p>風が白みかかった山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるように葉の密生した梢を鳴らす。</p>	<p>東砂 教室 級 氏名 初 丸尾 梨紗 作品番号 14</p> <p>風が白みかかった山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるように葉の密生した梢を鳴らす。</p>	<p>福二 教室 級 氏名 木村 陽華 作品番号 15</p> <p>風が白みかかった山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるように葉の密生した梢を鳴らす。</p>	<p>小笠 教室 級 氏名 二 渡辺 朋佳 作品番号 16</p> <p>風が白みかかった山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるように葉の密生した梢を鳴らす。</p>
<p>王森 教室 級 氏名 伊丹 せり 作品番号 17</p> <p>事情がこみ入って複雑な経過をたどること。紆余曲折。</p>	<p>小平 教室 級 氏名 関川 みのり 作品番号 18</p> <p>事情がこみ入って複雑な経過をたどること。紆余曲折。</p>	<p>都城 教室 級 氏名 湯水 菜々美 作品番号 19</p> <p>事情がこみ入って複雑な経過をたどること。紆余曲折。</p>	<p>中原 教室 級 氏名 初 鈴木 優真 作品番号 20</p> <p>風が白みかかった山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるように葉の密生した梢を鳴らす。</p>	<p>梅島 教室 級 氏名 初 田村 若菜 作品番号 21</p> <p>風が白みかかった山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるように葉の密生した梢を鳴らす。</p>	<p>青井 教室 級 氏名 二 指谷 星名 作品番号 22</p> <p>風が白みかかった山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるように葉の密生した梢を鳴らす。</p>	<p>千葉 教室 級 氏名 二 今井 美慶 作品番号 23</p> <p>風が白みかかった山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるように葉の密生した梢を鳴らす。</p>
<p>小絹 教室 級 氏名 荒 典華 作品番号 24</p> <p>事情がこみ入って複雑な経過をたどること。紆余曲折。</p>	<p>紅泉 教室 級 氏名 大 戸 麻緒 作品番号 25</p> <p>事情がこみ入って複雑な経過をたどること。紆余曲折。</p>	<p>遊心 教室 級 氏名 宮口 蓮 作品番号 26</p> <p>事情がこみ入って複雑な経過をたどること。紆余曲折。</p>	<p>有馬 教室 級 氏名 森本 千尋 作品番号 27</p> <p>事情がこみ入って複雑な経過をたどること。紆余曲折。</p>	<p>桂書 教室 級 氏名 初 坂井 敬伍 作品番号 28</p> <p>風が白みかかった山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるように葉の密生した梢を鳴らす。</p>	<p>法水 教室 級 氏名 初 泉家 朋子 作品番号 29</p> <p>風が白みかかった山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるように葉の密生した梢を鳴らす。</p>	<p>紫泉 教室 級 氏名 二 河西 舞子 作品番号 30</p> <p>風が白みかかった山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるように葉の密生した梢を鳴らす。</p>
<p>浮羽 教室 級 氏名 山科 理子 作品番号 31</p> <p>事情がこみ入って複雑な経過をたどること。紆余曲折。</p>	<p>御影 教室 級 氏名 大 槻 実花 作品番号 32</p> <p>事情がこみ入って複雑な経過をたどること。紆余曲折。</p>	<p>田口 教室 級 氏名 野田 桃乃花 作品番号 33</p> <p>事情がこみ入って複雑な経過をたどること。紆余曲折。</p>	<p>松浅 教室 級 氏名 北口 和臣 作品番号 34</p> <p>事情がこみ入って複雑な経過をたどること。紆余曲折。</p>	<p>マチ 教室 級 氏名 初 山本 匡告 作品番号 35</p> <p>風が白みかかった山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるように葉の密生した梢を鳴らす。</p>	<p>三学 教室 級 氏名 初 幡谷 海 作品番号 36</p> <p>風が白みかかった山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるように葉の密生した梢を鳴らす。</p>	<p>中条 教室 級 氏名 二 山田 潤ノ助 作品番号 37</p> <p>風が白みかかった山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるように葉の密生した梢を鳴らす。</p>



<漢字一字書>

<平がな一字書>

書友
堀本 夏美



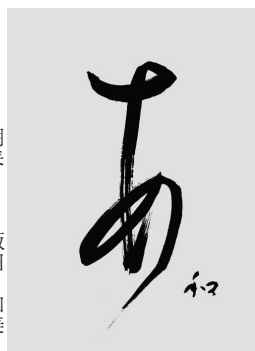
白松
竹谷 花葉



桂書
中畑 結衣



潮来
飯田 和美



あい
間仁田 恋桜菜



白根
三留 雪花



そり
外海 咲喜



桂書
山本 歩実



書友
堀本 春香



書友
上原 羅央



一葉
廣瀬 小春



菅山
正来 怜央



大部
田村 愛茜



住三
長谷川文佳



山玉
久保友希菜



平泉
熊谷 朋華

